

佐藤剛先生 : Lancet(2010)375:1147-1156.

### “インクレチン製剤のガチンコ対決、さて軍配は？”

Liraglutide versus sitagliptin for patients with type 2 diabetes who did not have adequate glycaemic control with metformin: a 26-week, randomized, parallel-group, open-label trial

【背景】新しい糖尿病治療薬として注目されているインクレチン製剤、注射の GLP-1 受容体作動薬と経口の DPP-4 阻害薬の両者が本邦でも次々と承認・発売されてきていますが、今回は両者のガチンコ対決が施行されました。

【方法】メトフォルミンでもコントロールできない T2DM 患者に、Liraglutide (GLP-1 analogue) 1.2mg (n=116)、1.8mg (n=116)、sitagliptin (DPP-4 inhibit)(n= 120)に割付、血糖・体重の検討が行われました。

【結果】Liraglutide 1.2mg では、HbA1c -1.5%、1.8mg では-1.24%であったのに対し、sitagliptin では、-0.9%であり、目標 HbA1c の達成率も、Liraglutide では 50%前後に対し sitagliptin では 20%でした。体重も Liraglutide では-3kg の減量効果を認めましたが、sitagliptin-0.9kg と明らかに、Liraglutide に軍配があがりました。予想された消化器症状の副作用は、Liraglutide では 33-40%前後の嘔気などの出現があり、sitagliptin の 21%より高頻度でしたが、その症状は、投与 1 ヶ月以内に集中していました。満足度の指標の DTSQscore では、注射であることや嘔気の出現にも関わらず、Liraglutide が sitagliptin より満足度が高いことがわかりました。

【結論】メトフォルミンを服用してもコントロールできない 2 型糖尿病患者への第二の治療法として、早期の血糖コントロール目標達成には、Liraglutide が sitagliptin に勝ることが証明されました。長期の場合、あるいは自分でお金を払う場合にどうなるのかなど、今後の展開が注目されます。いずれにしても、糖尿病治療はパラダイムシフトを迎えていることは、間違いないようです。乗り遅れないようにしましょう。。(文責阿比留)